

# これからの学習評価について

## 中学校の新学習指導要領がスタートしました！

中学校は2021年度から、小学校は2020年度からすでに実施されています。

全国どこの学校で教育を受けても、一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準が学習指導要領です。今回の改定には、「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。」そうした願いが込められています。

## 新学習指導要領と評価の主なポイント

### ○新しい時代に必要となる資質・能力

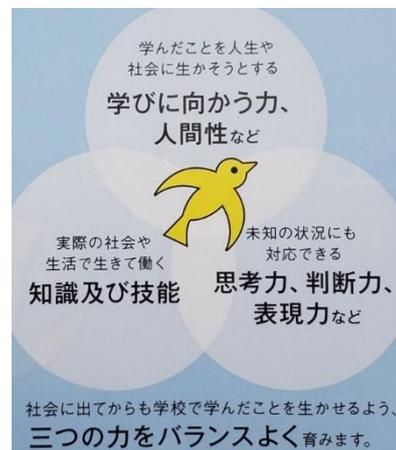
新学習指導要領では、幼稚園から高等学校までのすべての学校教育で、

- (1) 知識および技能
- (2) 思考力、判断力、表現力等
- (3) 学びに向かう力、人間性等

の「三つの柱」で示された資質・能力を育成することとされました。

### ○中学校で学ぶ教科（何を学ぶか）

今回の改定により、中学校では「特別の教科 道徳」が新設されました。（すでに先行実施しています）小学校では、道徳に加えて、外国語が新設されています。



### ○学習方法（どのように学ぶか）

**主体的・対話的で深い学び**（アクティブ・ラーニング）の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善をすすめます。また、「学びの振り返り」を大切にし、自らの学びを調整する力を育みます。



## ○評価の観点

従来、各教科の評価の観点は4観点（国語は5観点）でしたが、今回の改定によりすべての教科が3観点となります。

### これまでの観点別学習評価(4観点)

関心・意欲・態度  
 思考・判断・表現  
 技能  
 知識・理解



### これからの観点別学習評価(3観点)

知識・技能  
 思考・判断・表現  
 主体的に学習に取り組む態度

## ○評価・評定の内容について

観点別評価については、観点ごとに3段階（A・B・C）で「評価」します。また、観点別評価の結果を総括して、5段階で「評定」します。

各教科における評価・評定は、集団内の位置づけではなく、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、一人ひとりの学習の状況の評価するものです。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各教科等における知識及び技能の習得状況について評価するとともに、既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得しているかを評価します。	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかどうかを評価します。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかといった意志的な側面を評価します。

## ○評価方法

（評価方法の例を示したもので、教科や単元により異なる場合があります）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテストによる評価（客観式）</li> <li>文章による説明</li> <li>実技テストによる評価（実技、観察・実験、作図、作品など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト（記述式）</li> <li>論述やレポート、話し合い</li> <li>作品評価</li> <li>パフォーマンス評価（文章、歌唱・演奏、創作ダンス、プレゼンテーションなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の設定や学習計画の状況</li> <li>ノート評価・自由記述評価</li> <li>授業中の発言や行動観察による評価</li> <li>学びの振り返りに対する自己評価や相互評価</li> </ul>

## ○家庭での評価の活用について

生徒一人ひとりが、教科等の目標をどこまで達成したかを示していますので、ご家庭では、受け取った通知表をお子様と一緒に見ていただき、よく達成できたところはほめて伸ばしていただくように、課題があるところは今後どのように学習していくかを共に考え、次の学習への自信や意欲につなげていくようにしてください。

